

2018 マニラ国際旅行フェアにて「Best Decorated 賞」を受賞！



羽田から接続する国内48路線を提灯でデザイン



日本の縁日をテーマに和食をアピール

日本空港ビルディング(株)と東京国際空港ターミナル(株)は、フィリピン・マニラで開催された「Travel Tour Expo (TTE) 2018」に、羽田空港をPRするブースを初めて出展し、「Best Decorated International Winner」を受賞しました。海外の観光イベントで羽田空港のブースが受賞するのは、昨年台湾で開催された「台北国際旅展」で受賞した「ベストITFテーマ賞」に引き続き、2度目となります。

ブースデザインは、日本の「縁日」をテーマにし、空港内の和食店舗のサンプルセットを使用した記念撮影や、ガチャガチャ、ヨーヨー釣り、キャラクターすくいなどで来場者に楽しんでいただきました。

マニラで開催された「Travel Tour Expo 2018 (TTE)」は、今回で25回目を迎え、2月9日(金)～11日(日)の3日間の開催で、前年の11万人を3割上回る、約14万人のご来場がありました。

今回は300団体以上の参加があり、995ブースが出展した中からの受賞となりました。(日本からも21団体が参加)

2017年のフィリピンからの訪日旅客数は、近年の増加傾向を受けて前年比21.9%増の42万4,200人となっております。会場の日本ブースも多くの方で活況を示していました。

私たちは、海外の人々が日本へ、そして羽田空港を利用したいと思っていただけるよう、昨年の9月から、広州、バンコク、クアラルンプール、北京、ジャカルタ、台北など、世界各都市にて開かれる旅行博イベントに羽田ブースを出展しています。羽田空港の施設やサービスだけでなく、日本各地の魅力ある観光スポットを映像などで紹介し、国内48路線がある羽田から各地への乗り継ぎが大変便利であることを積極的にPRしました。

これからも、様々なシーンで、日本の素晴らしさや羽田空港の利便性を世界にアピールして参ります。

